

[演習林]

令和元年度 附帯施設演習林の活動報告

石川 知明

紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林長

令和元年度に演習林で行われた活動の概況を報告する。

【研究】

三重県との共同研究の「人工林内の土砂移動試験」が継続して行われた。また、「ナラ枯れ被害防除調査」、「演習林産スギ材を用いた三重大学ブランド商品開発」、「ぬたの谷の量水試験地における水文観測」、「安定的な木質バイオマスの供給」、「スギ人工林における長期固定試験地の調査」「UAV（ドローン）等による森林資源量の評価」などが行われた。

【教育】

令和元年度演習林実習等実施計画表に基づいて、17回の実習が行われた。1年生対象のフィールドサイエンスセンター体験演習では、森林の樹木や源流に広がる森林の実態ならびに森林の育成および管理について指導した。2～4年生対象のものは、森林に関連する教育を受ける学生に対して行う、宿泊を伴う実習であった。内容は、樹木学、測量学、森林土木学、林分調査法、砂防学、森林利用学など、森林管理の現場で必要になる内容をほとんど網羅しており、森林科学、森林管理に密着した実習を実施することで、実践的な人材の育成に努めた。

【地域連携・社会貢献活動】

○美杉木材まつり（美杉木材市場）に演習林産品を出品した。

- 演習林保全活動「平倉の森へOB集合」の森林ボランティア企画を11月に開催した。
- プトラマレーシア大学からの教職員及び学生の演習林訪問を受け入れた。
- 生物資源学部敷地内（圃場等）の支障木（スギ、アカマツ等）、附帯施設農場の支障木（ケヤキ）の伐倒及び枝剪定処理をおこなった。

【管理・運営】

- 引き続き、アセビ、シキミ等の枝物や、谷や林内にある流木を加工し、道の駅などで出荷販売した。
- 宿舎に給水している水源地から宿舎までの、取水口や給水管の保守点検を実施し、断水がないように努めた。
- 渓流水を活用したアマゴ養殖について、5月に稚魚を養殖地に放流し、翌年3月に出荷した。